

有害鳥獣調査委託業務の結果について

1. 調査の目的

近年、エゾシカが市街地付近まで侵入し、一部は郊外近くの住宅地に出没していることから、市街地へのエゾシカ流入ルートを特定し、そのデータを基に個体数調整捕獲を目的とした事業計画を策定するための事前調査を実施する。

2. 調査の概要

- 調査場所：白樺地区 雪堆積場（旧ごみ埋め立て場） ※白樺町 1 丁目付近
- 調査期間：令和 7 年 4 月 1 7 日から 6 月 1 3 日まで（約 2 か月間）
- 調査方法：調査区域に 5 台の定点カメラを設置し 5 分おきに撮影（静止画）

3. 調査結果について

約 2 か月間の調査による報告では、延べ 2, 2 0 5 頭のエゾシカが撮影され、最も多い日で一つのカメラに 1 5 4 頭が撮影されていた。定点カメラの撮影結果と同地区の目撃情報等を総合的に判断した結果、3 0 0 から 3 5 0 頭のエゾシカが生息していると推定される。

4. 今後の方針について

今回の調査を行うにあたり、エゾシカの生息数を百数十頭と推定していたが、推定を超える調査結果となったところであり、今後、シカによる生活環境上の被害状況などを勘案しつつ、シカの個体数調整などの対応について、個体数を管理している北海道と調整・協議しながら検討する。